駒ヶ根生涯活躍のまち　実施計画における数値目標へのアプローチ状況

設定目標		設定の考え方	計測手法	R3年度末実績	R4年度末実績	評価	R5年度末実績	R6当初の計画見込
Ⅰ　交流・居場所づくりに関する目標								
1　整備した拠点の稼働性 （多様な利用/多世代・多国籍・多様な市民団体/イベント含む）	拠点利用者数 30,000人/年	・まちなかへの新たな流入者数の成果を測ります。 ・整備した施設（ぱとな含む）の利用者数やイベント参加者数。	市・JOCA把握 毎年（Ｒ４～）	累計25,620名 内訳：ゴッチャ14,027名（R3.9月開所） ぱとな9,393人程度 イベント （みなこい、JC、テイクアウト、縁日） トータル約2,200人	（3月末時点）累計38,631名（+13,011名） 内訳：ゴッチャ23,488人 ぱとな11,443人（ぱとな祭り含む） イベント（みなこい、テイクアウト、縁日、ゴッチャ1周年祭） トータル3,700人程度	◎	（3月末時点）累計82,743名（+44,112名） 内訳：ゴッチャ25,741人 ぱとな14,171人（ぱとな祭り含む） イベント（みなこい、テイクアウト、縁日、ゴッチャ２周年祭） トータル4,200人程度	拠点利用者数 30,000人
2　まちなか遊休資産の活用数 （空き家、空き店舗など）	新規利用20件 (構想期間内累計)	・中心市街地の再生、賑わいの創出の直接的な効果を測ります。 ・市事業（商工観光課）の調査データより該当数を抽出。	市把握 毎年	7件 内訳：ゴッチャ、きよし、いろどり、慎香、Sato Labo、かっぱ厨亭、遊河童	累計15件（+8件）（3月末時点） 内訳：xWINまみーずかふぇ、res_t_art、TAZAWA、Camp Strawberry、FIRST MOUNTAIN、STAND BAKE SHOP、焼肉門、炭琴aGuri	△	累計16件（+1件）（3月末時点） 内訳：菓子店midi	目標値4件
3　連携・交流した団体数	10団体以上/年	・取り組み1-(4)、地域団体との連携・交流の成果を測ります。	市・JOCA把握 毎年	約30団体・企業・個人（自営） (内訳)こまがねテラス、あつい！こまがね、看護大学、JC、商工会、銀座商店会、広小路商店街振興組合、日の出町商店組合、JICA、ぱとな、まほろばの里、みなこい実行員会、こまがねgift実行委員会、南信州ビール（株）、Sato Labo、音の葉、美酒フェスタ実行委員会、地球人ネットワーク、ゴッチャ外部プログラム講師(12組）など	約30団体・企業・個人（自営） (内訳)こまがねテラス、あつい！こまがね、看護大学、商工会、銀座商店会、広小路商店街振興組合、日の出町商店組合、JICA、ぱとな、みなこい実行員会、こまがねgift実行委員会、音の葉、美酒フェスタ実行委員会、こまゼミ協力店舗(約15店舗)、ワーケーション/教育旅行受入協力(約5団体)、ゴッチャ外部プログラム講師(12組）など	◎	約30団体・企業・個人（自営） ワーケーション/教育旅行受入れ協力（地球人ネットワークinこまがね、駒ヶ根協力隊を育てる会、JICA、駒ヶ根キャンプセンター、すずらん颯、駒ヶ根観光協会、シルクミュージアム、東伊那公民館、中沢公民館、赤穂公民館）、サンスポート駒ヶ根、JTBオリエントトラベル駒ヶ根支店、株式会社　国際テクノ・センター、放課後デイサービスしろくま、駒ヶ根工業高校、ゴッチャ外部プログラム講師(12組）など	10団体以上
4　まちなか実践ワークショップの実施	2回以上/期間内	・取り組み1-(5)市民ニーズを知る成果を測ります。	市・JOCA把握 期間内	リビングLabsの実施（WS・準備・当日運営等10回） （若者視点で若者をまちなかに呼び込むプログラム）	本年度実施なし。 （若者視点で若者をまちなかに呼び込むプログラム）	◎	ウミガメプロジェクト（赤穂高校1年生（37人）探求の時間） KOMAGANE"SPACE"講座（高校生のための地図づくり、商品開発（駒ヶ根スイーツ）、SNS活用、ごろごろクッションの森、プリクラ設置）	1回以上
5　多様な機能として整備した施設数 （取り組みⅠ-2で位置付けた施設）	各1件/期間内	・多様な機能の整備に関する直接的な効果を測ります。	市把握 期間内	2件 ゴッチャウェルネス(R3.9開所) シェアハウス（R4.2開所）	本年度実績なし	◎	1件 J’ｓ保育園駒ヶ根（7/13～3/22）	各1件
Ⅱ　学びと交流の場づくりに関する目標								
6　ワーケーションの参加人数	市外からのワークスペース利用人数 延120人/年	・取り組み1-(2)企業研修誘致などの成果を測ります。プログラムに参加しまちなかのワークスペースを利用した人数。	市、JOCA、ワークスペース提供施設で把握 毎年	40人（Green Shift 12/1-3）＋α	合計16件、106人（+66人） IBM、JICA、ベトナ農園隊、その他個人利用	◎	合計20件、126人 旅と学びの協議会サミット、ゼロワンカンパニー、JICA、その他個人利用	市外からのワークスペース利用人数 延120人
7　駒ヶ根のファンづくりの取り組みにおける参加者数	500人以上/年	・取り組み1-(1).(3).(4)の成果を測ります。	市、JOCA把握 毎年（Ｒ４～）	累計208人 駒ヶ根フォーラム（131人） こまゼミ全5回9店舗（70人） JICA海外協力隊特別訓練（計7名）	合計372人 駒ヶ根フォーラム（160人） こまゼミ全6回6店舗（51人） こまゼミジュニア全5回7店舗（34人） シン・コマガネプロジェクト（127人）	○	合計530人 駒ヶ根フォーラム（110人） こまゼミ全6回6店舗（81人） ウミガメプロジェクト（20人） シン・コマガネプロジェクト（66人） 帝京大学可児中学校人間力向上プログラム（85人） 料理くらぶ（58人）、ふるさと児童くらぶ（110人）	500人以上
8　市外からの教育旅行誘致数 （市内でプログラムを実施）	5校/年	・取り組み1-(2)の成果を測ります。市内での人材育成プログラムなどへ参加校数。	市、JOCA把握 毎年	市内でのプログラム実施は3校147名 南砺市立城端中学校　北越高等学校　長野県立看護大学 ※このほかコロナ対応でオンライン2校、市外実施1校	18件395名（+11件、+217名） 小学校1件、中高生6件、大学・大学院3件、一般8件	◎	合計17件、495人 小学校3件、中高生6件、大学4件、一般4件 ※このほか出前講座として、市外実施1校（次年度以降、来駒プログラムとなる可能性あり） （JICA施設訪問・出前講座39件　1,340人）	5校
9　若い世代向け事業の実施数	各事業１回/年	・取り組み2-(1).(2).(3)の成果を測ります。	市、JOCA把握 毎年	1件。リビングLabsを実施。 高校・大学生対象プログラム	合計2件、50名 SDGｓクラブ、komaganeインターン、こまゼミJr.	◎	ウミガメプロジェクト（赤穂高校1年生20人） 駒ヶ根の魅力を体験できるアクティビティづくり	各事業1回
10 既存団体と連携した数	延20団体以上/期間内	・既存の活動団体と連携した取り組みから事業継続などの効果を測ります。	市、JOCA把握 期間内	Ⅰ-3に同じ。	Ⅰ-3に同じ。	◎	Ⅰ-3に同じ。	Ⅰ-3と同じ
Ⅲ　生涯活躍のまちが目指す健康づくりに関する目標								
11こまがね健康ステーション事業の参加人数 （活動量計購入者数）	600人(期間中) 2019年度から毎年100人増加	・市民の健康増進の機会拡大の成果を測ります。 ・市事業（地域保健課）の登録データを活用します。	市把握 毎年・期間内	127名の新規購入者	累計472名（+146名）、登録継続者1128名（3月末時点）	△	期間中60名、登録継続者1,305名（＋177名）（3月末時点） 利用者数　1,260人	100人増加
12 ウォーキングの促進 （市内各イベント連携含む）	イベント数10回/年	・取り組み1-(2)の成果を測ります。	JOCA把握 毎年	9回実施（157名の参加） ※コロナの影響で3回中止	合計9回実施、125名の参加（昨年比較、-32名）（3月末時点） ※天候・コロナの影響で4回中止	△	合計４回　24名参加（昨年比較、-101名） ゴッチャランニングクラブ、美姿勢・ウォーキング教室	イベント数10回
13 地域の団体や企業連携数	10カ所/期間内	・取り組み2-(1)の成果を測ります。	JOCAで把握 期間内	For Business実績2企業 その他4企業と次年度実施に向け調整中	累計4企業（For Business） その他2企業と次年度実施に向け調整中	◎	累計7企業（For Business）	3カ所
14 飲食店との連携数	10店舗/期間内	・取り組み2-(2)の成果を測ります。	JOCAで把握 期間内	飲食店のみならず市内企業・事業主と連携8店舗 （光祥院、看護大、昭和伊南、田中薬局、グリーンオックス、山二園、福屋商店、きよし）	飲食店のみならず市内企業・事業主と連携12店舗（サリカ、Sink、×WINまみーずかふぇ、水車、大衆食堂きよし、協力隊珈琲、Arch、cross life、bien bien、かっぱ厨亭、ポカラキッチン、IL PUNTO）	◎	飲食店のみならず市内企業・事業主と連携12店舗（サリカ、Sink、×WINまみーずかふぇ、水車、大衆食堂きよし、協力隊珈琲、Arch、cross life、bien bien、かっぱ厨亭、ポカラキッチン、IL PUNTO）	10店舗
15 えがおポイント連動による活動量計普及促進	新たな仕組み構築/期間内	・活動量計の普及促進のため、えがおポイント活用や地域連携の仕組みを構築する。	JOCAで把握 期間内	えがおポイント推進協議会に参加。今後、看護大まちづくりサークル等とも協議を重ねて仕組みを構築予定。	えがおポイント推進協議会に参加。今後、看護大まちづくりサークル等とも協議を重ねて仕組みを構築予定。	△	・えがおポイント推進協議会への参加。 ・特定保健指導対象者へ指導期間内の活動量計無料貸出	新たな仕組み構築
Ⅳ　その他構想の目標								
16 移住者数 （2019年度から集計、信州駒ヶ根暮らし推進協関係及び若者住宅補助利用移住者数の合計）	500人	・市内への移住者増の成果を測ります。	市、信州駒ヶ根暮らし推進協把握 期間内	91名-信州駒ヶ根くらし推進協議会支援実績 cf）R2年度実績64名	（3月末時点）39名（累計194名）-信州駒ヶ根くらし推進協議会支援実績 cf）R2年度実績64名、R3年度実績91名、R4年度実績39名	△	（3月末時点）66名（累計260名）-信州駒ヶ根くらし推進協議会支援実績 cf）R2年度実績64名、R3年度実績91名、R4年度実績39名、R5年度実績66名	500人